

1. 適用範囲

本書は、DF63 シリーズの挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。

本書には、本製品を安全に使用するための一般的な指針や注意事項が述べられています。本書に書かれたことと違った方法で本製品を使用された場合、コネクタ破損等の予期せぬトラブルに繋がる恐れがあるため、製品をご使用頂く前に必ず熟読し、十分にご理解頂くようお願いします。

2. コネクタ品名

品 名	名 称
DF63%-*S-3. 96C (##)	圧着ソケット
DF63%-*P-3. 96DS (A) (##)	ヘッダー
DF63%-*EP-3. 96C (##)	中継プラグ
DF63%-****SC (F) (A)	圧着端子
DF63%-****PC (F) (A)	

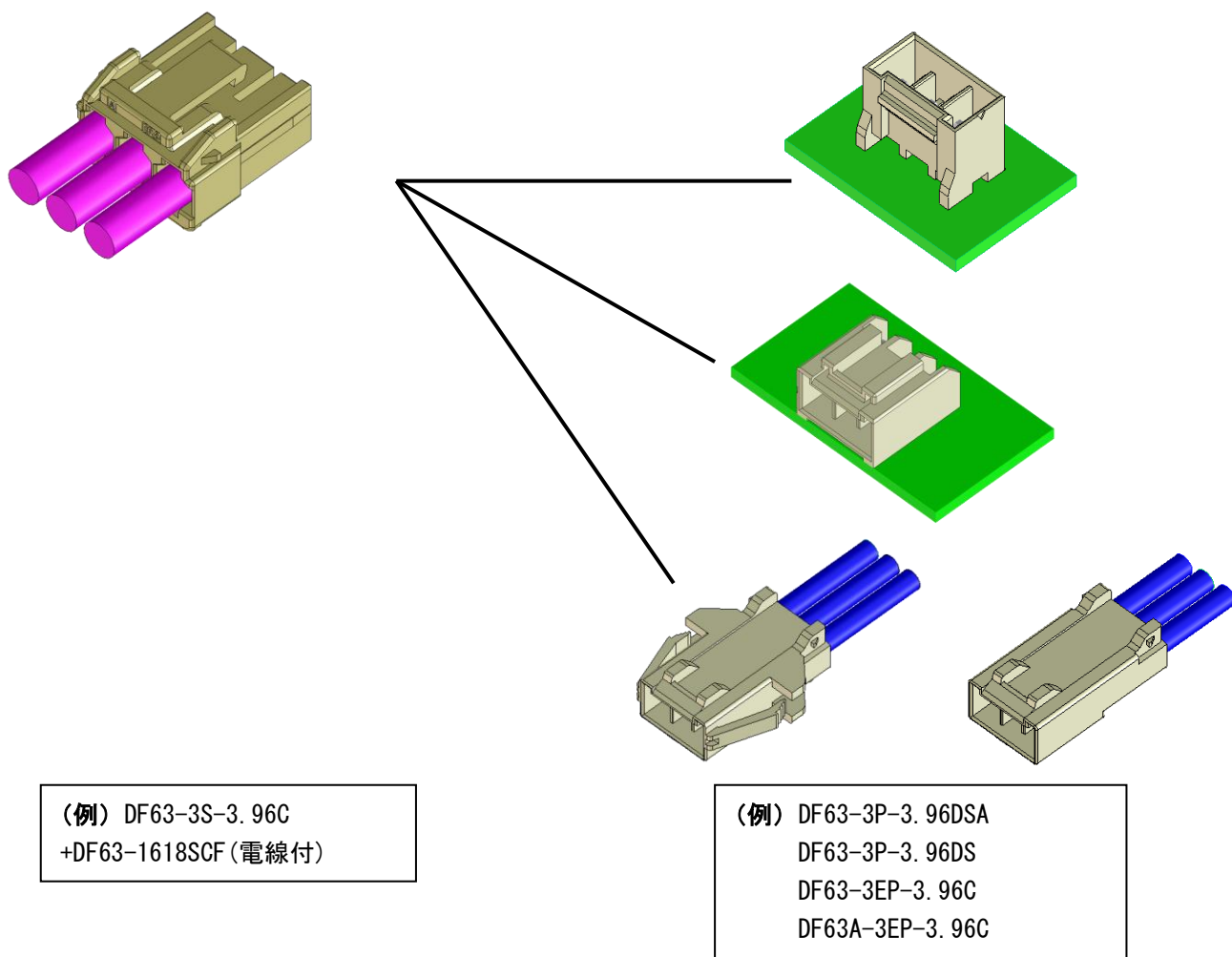


図 1. DF63 コネクタ

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△	2	DIS-H-00003521	HT. SATO	TS. FUKUSHIMA	18. 02. 07
名 称 TITLE				HRS HIROSE ELECTRIC CO., LTD. APPROVED HS. OKAWA 16. 11. 04 CHECKED TS. FUKUSHIMA 16. 11. 04 DESIGNED YK. YAMAGUCHI 16. 11. 04 WRITTEN YK. YAMAGUCHI 16. 11. 04	
DF63 シリーズ挿抜手順書					
技 術 指 定 書 TECHNICAL SPECIFICATION				ATAD-H0892-00	
				△	1 / 6

3. 作業手順

3-1. 挿入

3-1-a. 挿入位置合わせ

：ソケットとヘッダーおよび中継プラグの中心位置を合わせて下さい。

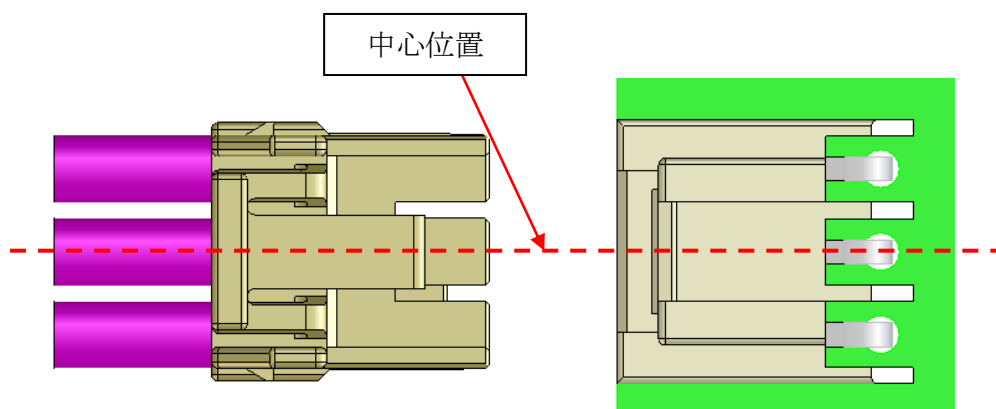


図 2. 挿入位置合わせ方法

3-1-b. 挿入

：合わせた位置を保ちながら、「カチッ」と音が鳴るまで挿入して下さい。

ロックは操作無しで挿入して下さい。（ロックを押し下げたまま挿入すると挿入音が鳴りません。）

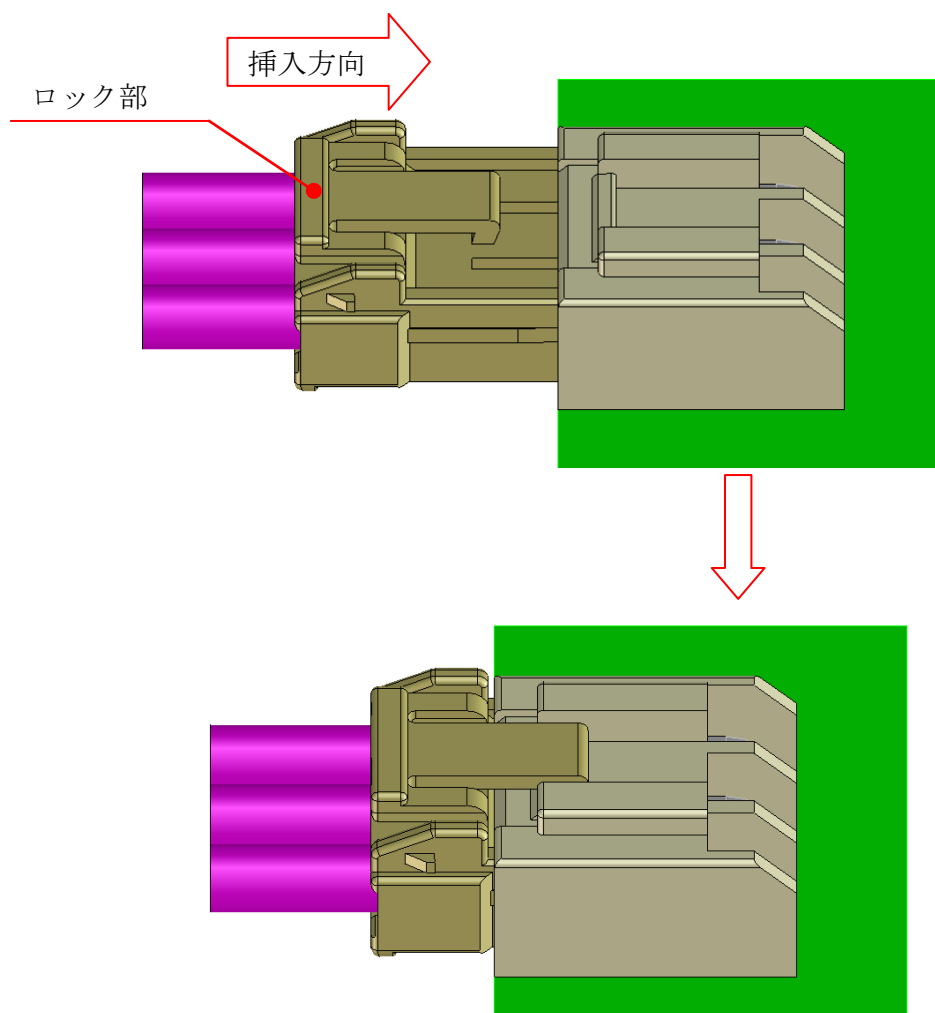


図 3. 挿入方法

品質に悪影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図の様に、斜め挿入することはしないで下さい。

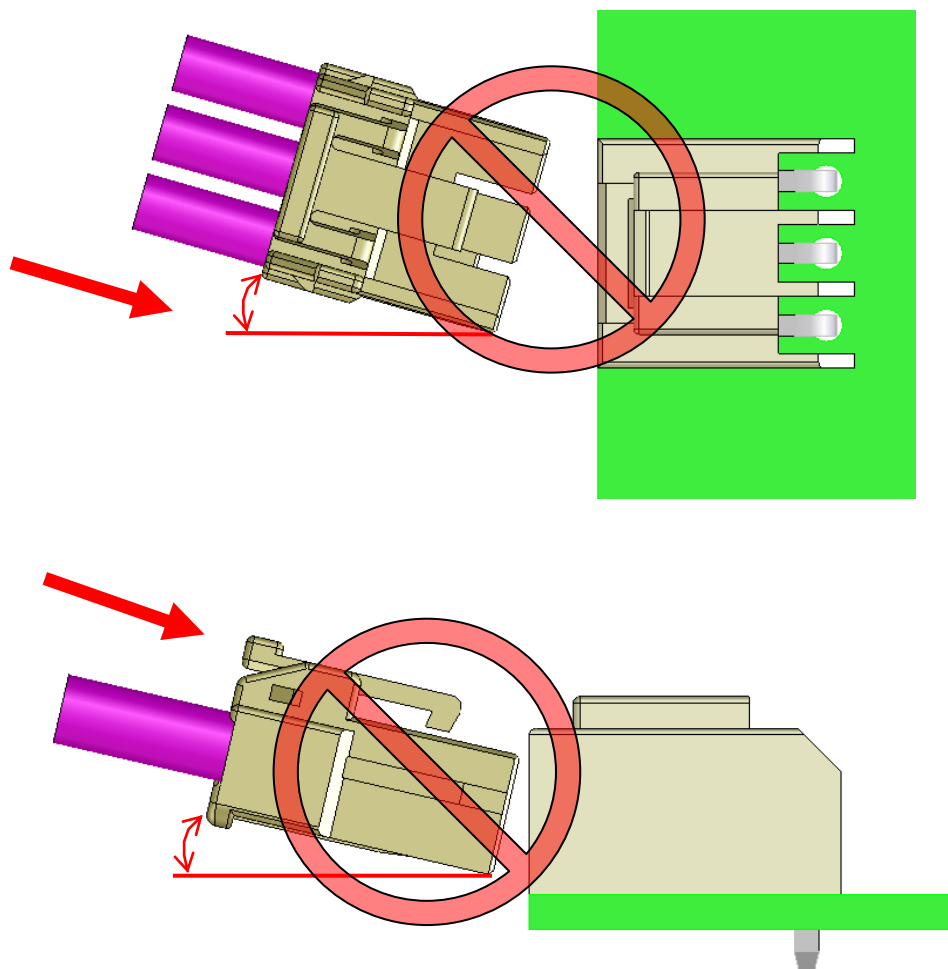


図 4. 禁止挿入方法

3-1-c. 嵌合確認

：ソケットとヘッダーおよび中継プラグが確実に嵌合されていることをケーブルを軽く引っ張って確認して下さい。
嵌合の外し方は 3-2. 嵌合抜去をご確認下さい。

3-2. 嵌合抜去

3-2-a. 抜去

：ソケットのロックバネ押し部を指で押し下げながら、ロックが解除している状態で、抜去して下さい。

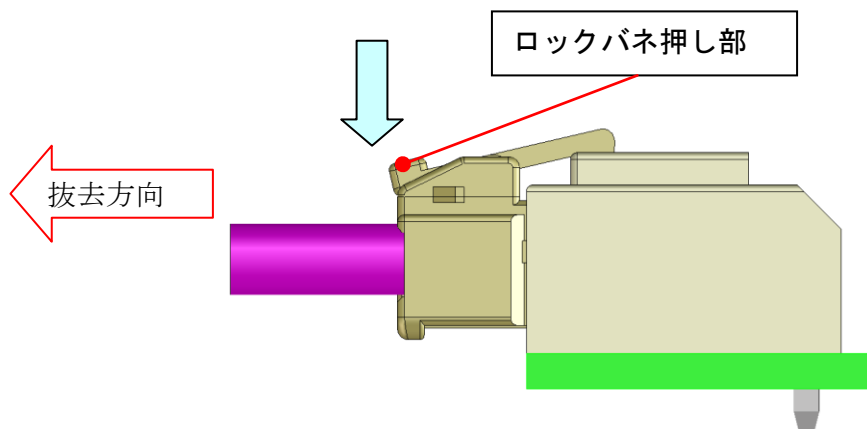


図 5 嵌合抜去方法

⚠ 品質に悪影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図の様に、斜め抜去することはしないで下さい。

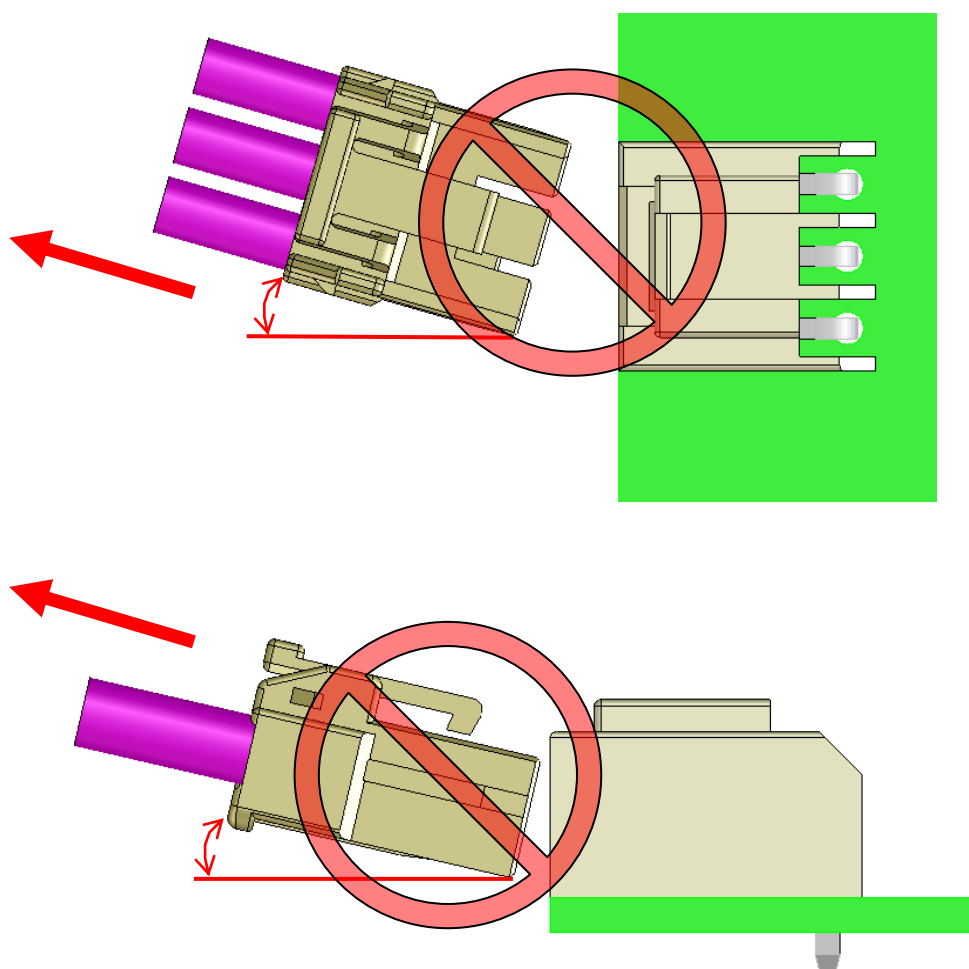


図 6. 禁止抜去方法

注) ロックが引っ掛かったまま抜去すると、ロック引っ掛け部への破損あるいはケーブルの断線が発生する恐れがありますので、ロックが引っ掛かったまま抜去しないようにして下さい。

図6のように、ロックを押し下げないままケーブルを引っ張るとロック先端が噛み合った状態となり、ロックを操作することが出来ません。本状態となった場合は、一度コネクタを押し込んでからロック操作を行ってください。

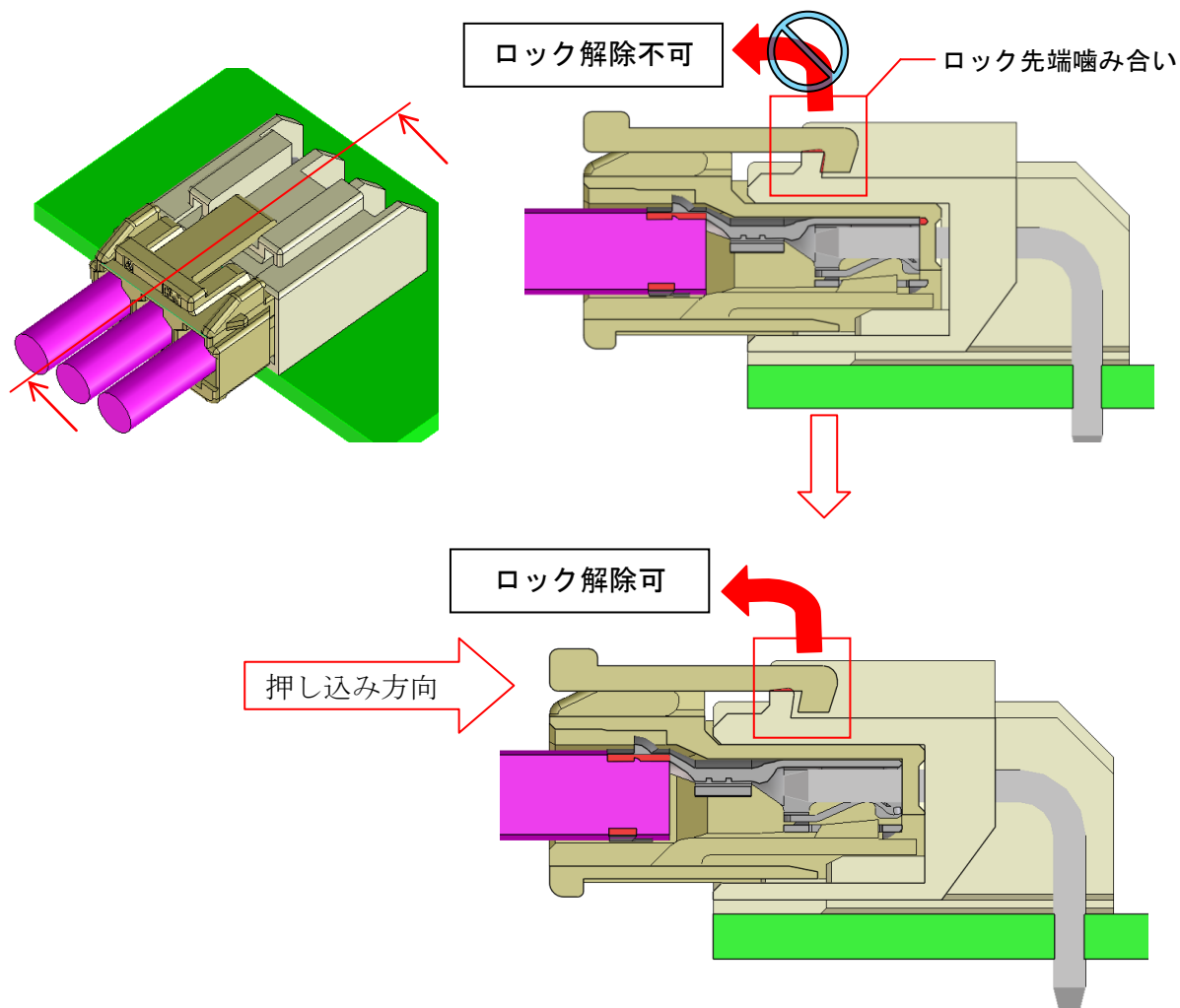


図7. ロック操作不可の場合の対処

4. 注意事項

- ・電気を流したまま挿抜は行わないで下さい。
- ・コネクタに過大な外力が加わりますと、障害や破損を引き起こす場合がありますので、無理な挿抜、落下衝撃、無理なケーブルの引っ張りや引き回しがないようにご配慮下さい。

- ⚠ ・品質に悪影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図 7 の様に、ケーブルを束ねて圧着ケースに負荷をかけながらの挿入は行わないでください。

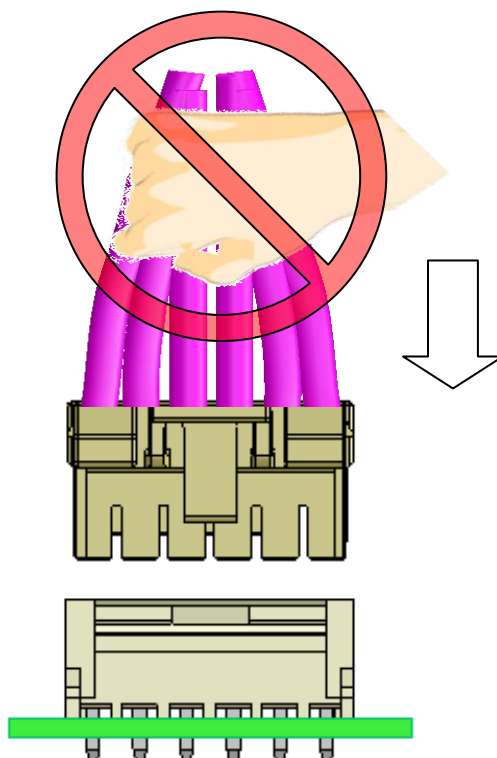


図 8. 禁止挿抜方法